

特集

家庭でできる 防災術



防災クイズ Q&A

QUESTION

Q1

- ① 急いで火を消す
- ② 揺れが収まってから火を消す

火を使っているとき、大きな揺れを感じました。どうする？

Q3

- ① 買い物がごをかぶってうずくまる
- ② コンクリートの柱の下に避難する
- ③ すぐに非常口に向かっていく

スーパーマーケットにいたとき、大きな揺れを感じました。どうする？

Q5

- ① 押入れ
- ② 台所
- ③ 玄関

避難グッズを入れた「非常用持出袋」。どこに置くのがいい？

Q2

- ① 1階のボタンを押す
- ② 最上階のボタンを押す
- ③ すべての階のボタンを押す

エレベーターに乗っているとき、大きな揺れを感じました。どうする？

Q4

- ① キッチンばさみ
- ② ラップ
- ③ ペットボトル
- ④ ベビー用おしりふき

災害が発生したときに役に立ったものはどれ？

Q6

- ① 約2倍
- ② 約5倍
- ③ 約10倍
- ④ 約30倍

マグニチュード5とマグニチュード6の地震、エネルギーの差は何倍でしょう？

三重県が行った「平成30年度防災に関する県民意識調査」では、約37%の家庭が3日分以上の飲料水を確保しており、約50%の家庭が非常用持出袋を準備しているという結果でした。

近年では南海トラフ巨大地震が危ぶまれており、さらに頻発する地震により、人々の災害に対する危機意識は年々高まっています。この機会に、もう一度、災害に備えるために「家庭でできる備え」について考えてみましょう。

★平成30年度防災に関する県民意識調査報告書から抜粋

- ・3日分以上の食料を常に確保している…約27%
- ・携帯電話やスマートフォンの予備電源を確保している…約25%
- ・本棚や食器棚などから物が飛び出ないようにしている…約13%
- ・寝室に転倒の危険性のある家具類などを置かないようにしている…約38%

あなたの備えは大丈夫？

A1 ② 大きな揺れのときに無理をして火を消そうとするとやけどする危険があります。揺れを感じたらコンロから離れ、揺れが収まってから慌てずに火を消しましょう。

A2 ③ 閉じ込められる危険があるため、すべての階のボタンを押して、最初に止まった階で降りましょう。

A3 ① 買い物かごは意外にも強度があります。とにかく頭を守り、命を守る行動をとってください。

A4 ④ 全て キッチンばさみは食材の調理などに、ラップは皿に巻いて節水対策などに、ペットボトルは給水や浄水などに、ベビー用おしりふきは身体やテーブル拭きなどに使用できます。あるものを工夫して使いましょう。

A5 ③ すぐに取り出せるよう、玄関などの出入口に近い場所に置きましょう。車のトランクや外の物置などさまざまな場所に置けば、自宅が被害を受けても安心です。

A6 ④ マグニチュードが1違うと、エネルギーは約30倍違います。マグニチュードが2違うと、エネルギーは約30×約30で約900倍も違います。

A7 ② 長時間、足や腕などが重いものの下敷きになっていると、体内に毒素が発生し、急に取り除くと毒素が血液をめぐり心臓停止などを引き起こすことがあります。クラッシュシンドローム症状といえます。

A8 ① 単独行動は危険を伴い、持てるだけ持つと両手が荷物でふさがり避難の妨げとなります。避難生活に必要なものをリュックに入れ、避難しましょう。

【問い合わせ】 総合危機管理課
☎ 22-9640 FAX 24-0444
✉ kikikanri@city.iga.lg.jp

平成31年3月、内閣府より「避難勧告等に関するガイドライン」の改定が行われました。従前の避難情報に加え、警戒レベル1～5の5段階のレベルにより情報提供することで、皆さんが情報の意味を直感的に理解しやすいものとしています。これにより、今後発令される避難情報は、「【レベル3】避難準備・高齢者等避難開始」、「【レベル4】避難勧告」、「【レベル4】避難指示（緊急）」、「【レベル5】災害の発生状況」に変更になります。

警戒レベル	避難行動等（住民がとるべき行動）	避難情報等（行動を促す情報）
警戒レベル5	命を守る最善の行動	災害の発生状況 〔市町村が発令〕
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難	・避難指示（緊急） ・避難勧告 〔市町村が発令〕
警戒レベル3	避難に時間を要する人（高齢者等）とその支援者は避難	避難準備・高齢者等避難開始 〔市町村が発令〕
警戒レベル2	避難に備え、避難行動の確認	注意報 〔気象庁が発表〕
警戒レベル1	災害への心構えを高める	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

※内閣府 避難勧告等に関するガイドラインの改定



Q8

地震発生直後の避難方法で、最も適切なものはどれ？

- ① 近所の人と声を掛け合って避難する
② 一人で身軽に避難する
③ 避難生活に備え、持てるだけ持って避難する

Q7

倒れた家具に足を挟まれて長い時間身動きできず苦しんでいる人がいます。どうする？

- ① 家具を持ち上げて助け出す
② 救助隊が到着するのを待つ
③ 挟まれている足をマッサージする